

感染症情報 8月4日～10日

府下小児科185医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	580例(堺市	35例)
②伝染性紅斑	419例(堺市	33例)
③ヘルパンギーナ	388例(堺市	26例)
④溶連菌感染症	175例(堺市	24例)
⑤RSウイルス感染症	153例(堺市	16例)

府下291医療機関(堺市25)から

インフルエンザ	55例(堺市	2例)
---------	--------	-----

報告数による順位。前週比17.6%減の1,948件。感染性胃腸炎は府下で前週から17%減、堺市で前週23例→今回35例(52%増)。伝染性紅斑が府下で6%減、堺市で40例→33例。ヘルパンギーナが府下で25%減、堺市で39例→26例であった。溶連菌感染症が府下で22%減、堺市で26例→24例。RSウイルス感染症が府下で7%減、堺市で5例→16例。

インフルエンザが府下で前週69例→今回55例は20%減。堺市で前週1例→今回2例であった。全数把握疾患の百日咳は大阪府で81例→68例は16%減、堺市は2例→5例であった。今年入ってからの府内の累積報告数は2,439例となった。

府下291医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症	1,212例(堺市	125例)
大阪府定点	4.16	堺市定点 5.00

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で3%増(7週連続増)、定点当たり4.04→4.16。堺市は127例→125例で2%減、定点当たり5.08→5.00は大阪府ブロック別でワースト2位であった。

府下291医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症	9,677例(堺市	1,006例)
大阪府定点	33.25	堺市定点 40.24

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より8%減、定点当たり36.31→33.25、堺市で1,028例→1,006例は前回より2%減、定点当たり41.12→40.24であった。

風疹はなかったが、大阪市で麻疹1例が報告された。